

さいたま市民医療センターにてご加療中の方及び医療従事者へ

当センターは、インシデントレポートの自由記載欄にもとづくリスク量を用いた多施設比較研究（多施設共同研究）に参加しております。この研究は、各医療機関のインシデントレポートデータからリスク量を算出し、各医療機関の比較や総和の推移を算出する研究です。

【研究課題】

インシデントレポートの自由記載欄にもとづくリスク量を用いた多施設比較研究

【研究機関名及び研究責任者氏名】

本研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 名古屋大学医学部附属病院
研究責任者 患者安全推進部 教授 長尾 能雅
担当業務 データ収集・データ解析

【共同研究機関】

研究機関

愛知県医療療育総合センター中央病院 リハビリテーション室長 門野 泉

鹿児島大学病院 特例准教授 内門 泰斗

東京医科大学病院 准教授 浦松 雅史

島根大学医学部附属病院 教授 深見達弥

さいたま市民医療センター 下部消化管外科科長 渡邊 善正

千葉労災病院 整形外科部長 橋本光宏

市立東大阪医療センター 副院長 山田晃正

大阪市立総合医療センター 副院長 清水貞利

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 副院長 水野公雄

公立西知多総合病院 副院長 牧野光恭

半田市立半田病院 副院長 岡田禎人

佐賀県医療センター好生館 呼吸器外科部長 武田雄二

新行橋病院 医療安全管理者 別所文彦

中京病院 医療安全管理者 中野妙

東海中央病院 医療安全管理者 中嶋広志

担当業務

インシデントレポートに記載された自由記載データ収集・提供

【研究期間】

許可されてから 2027 年 3 月 31 日まで

【承認番号】

2023-18

【対象となる方】

2018年4月1日～2023年3月31日の間に当センターにおいて通院もしくは入院で治療を受けられた際にインシデントに関係した患者さん及び医療従事者です。

【研究の目的】

平成30年度・令和元年度の厚生労働科学研究「医療安全管理体制の可視化と人材育成のための研究」(研究代表者 長尾 能雅. 名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 教授)において、機械学習技術を用いてインシデント情報を分析することにより、医療組織が抱えるリスクを数値化し、定量的に評価する方法をリスク量として開発しました。本研究では、各医療機関のインシデントレポートデータからリスク量を算出し、各医療機関の比較や総和の推移を算出することで、今後の患者安全向上にむけた方策の検討を行います。

【研究の方法】

本研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会、名古屋大学医学部附属病院長の承認を受け実施するものです。これまで医療従事者から提出されたインシデントレポートの自由記載データ(事例の具体的な内容、事例の背景、改善案)を収集して行う研究です。特に患者さんや医療従事者に新たにご負担いただくことはありません。

収集したデータは収集と解析の目的で、名古屋大学医学部附属病院患者安全管理部に名古屋大学の研究教育用ファイルサービスを経て提供いたします。このサーバーは通信経路が暗号化された各研究機関専用の領域となります。送付されたデータは名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部の施錠された部屋のサーバーへ移動し、解析を行います。

【個人情報の保護】

本研究に関わって収集されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。収集されるデータは、名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部に送られ解析・厳重に保存されますが、患者さんあるいは医療従事者の氏名・住所・生年月日・性別・病名等の個人情報は一切収集しないため当センターから提供されることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先まで2027年3月31日までにご連絡ください。また、データを本研究に用いられることについて患者さんや医療従事者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

2024年3月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 医療安全管理室
住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1
電話：048-626-0011